

いよいよ年度末！この1年間でお子さんができるようになったことは何ですか？

あっという間に年度末。第1号では家庭は「心の安全基地」、早寝・早起き・朝ごはん、第2号では夏休み明けは”できている”ことにもう一度、目を向けようとお伝えしてきました。保護者の方の温かなサポートにより、お子さんは少しずつできることが増え成長しています。この1年間でお子さんが成長したことはどんなところですか？また、そこに関わってくれた様々な人の顔を思い浮かべましょう。

遊びは幼児期にふさわしい学び

幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。遊びを中心として、頭も心も体も動かし、主体的に、様々な対象と直接力がわりながら、総合的に学んでいきます。

遊びを通して思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有したり、協力したりして、様々なことを学んでいきます。幼稚園での遊びを通して豊かな心と体を育み、学ぶ楽しさを知ります。

どんな学びがあるのかな？



例

- ・道具の使い方をしる
- ・素材のよさを生かしてつくる
- ・友達と想いついたことをだしあう
- ・やりとげたことをよろこぶ



例

- ・思い浮かべた色をつくる
- ・色の変化を楽しむ
- ・色の違いに気付く
- ・友達と一緒に感じあう

小学校でのスタートカリキュラム

幼児期の遊びを通じた学びが、各教科等の学習につながるよう、生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実しています。入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜていきます。そして、子供はより自覚的な学びへと向かっていきます。つまり、学ぶことの意義があり、集中する時間とそうでない時間の区別がつき、自分の課題の解決に、計画的に学んでいくようになります。

●スタートカリキュラムの活動例

リズムで楽しく遊ぼう



「あひるのあくびはあ・い・う・え・お」
音読にも動きを付けて、体全体で伸び伸び表現します。

アサガオを育てよう



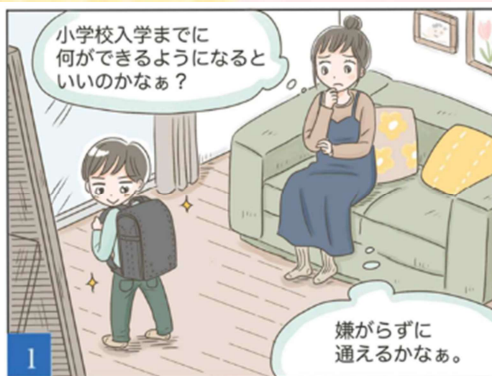
友達とかわかることで、気付きが生まれます。

(文部科学省 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿より)

遊びを学びに繋げて

幼児期の学びは遊びを通してたくさんのことを学んでいます。文部科学省では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿として、一人の一人の発達に応じた目標を掲げております。

是非休日の家庭生活の中でも遊びや親子の触れ合いの中で、幼児に「なんだろう？」「どうしてかな？」と問いかけながら、**好奇心の芽**を育てていってください。この先の小学校への接続がスムーズになってきます。



<参考> 家庭教育応援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」茨城県教育委員会



「家庭教育応援ナビ」QRコード



「家庭教育応援ナビ」公式X QRコード



@Katei_sukusuku
すくすく育ていばらきっ子

